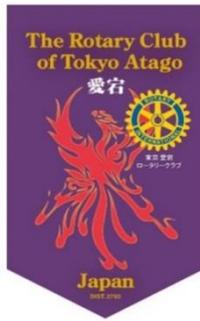


No. 5 2014/8/5

WEEKLY REPORT 2014~2015



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
副会長 波多野まみ
例会場 東京アメリカンクラブ
例会日 毎週火曜日 8:00~

2014年8月5日(火)
本日のプログラム

東京城西ロータリークラブ
美崎 栄一郎 様
「ヒット商品、ヒットサービス
開発の秘密」

■会長挨拶 会長 尾関 勇

本日のガバナー補佐公式訪問、来週インターシティミーティングと続きますが、この後クラブ協議会を開催させていただきます。今は奉仕プロジェクトの準備が進んでいますが、私たちはやっと例会を1年間精一杯やってきました。しかしながら、今日はボストンの方がいらしたり、設営など慣れてきました。ですので、地域の活動にもプラスアルファで参加していきたいと思っています。先日の新聞記事をご覧お方もいらっしゃるかと思いますが、小林製菓の創業者の奥様が色々な財団をお持ちで、アジアからの留学生に特に力を入れているそうです。大変感銘を受け調べたところ、移動はすべて公共機関のみ、お金も出すが口も出すと、非常に暖かく学生を受け入れ、日本をよく理解してもらう。ご自身はマスコミなどの前には立たれないそうです。もうけを得た分ドネーションをする、日本人は体を動かして奉仕をするのが合っているのかなとも思いますが、そのようなことを少しでもしていきたいと思っています。現在私は47歳ですが、これからそういったことにロータリーを通じて目を向けていくべき世代だと思って

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

います。ではそのロータリーを通じて社会に貢献していく基本がどのようなものなのかを、大先輩でいらっしゃる浅田ガバナー補佐より、じっくりと学び、皆さん知恵を付けて頂きたいと思います。世界は今不安定な要素が増えてきていますが、やはり根底にあるフレンドシップは各国の人たちとの交流を草の根のレベルですることではないかと考えています。ぜひ皆様方が、私たちがやっていければいいなと思います。

2014年7月22日(火)の卓話
2750地区 2014-15年度
山の手東グループ ガバナー補佐
浅田 豊久 様 (東京六本木RC所属)
「あなたはロータリーに何を求めますか」



1905年、シカゴで誕生したロータリーは109年経過した今も発展を継続しています。組織力、運営力、発信力、集金力、支援力、貢献力、など…。企業で言えば大企業でありながら中小企業を持つ小廻りする瞬発力を有し、是正する力が瞬時に出来ることがロータリー百年の底力のルーツと言えます。又目的別に各組織が分離独立しております。RI、ロータリー財団、米山奨学事業、などなど。そしてこれらは組織体として分離しながらも「ロータリー」という旗印は統一されております。その力<ロータリーパワー>の根元は「一年でリーダーが交代する」「リーダー予備軍が常に待機」「リーダーは日々研修を受ける」「情報共有の仕組み」「会員とRIが直結」などの事が大いに影響を及ぼしていると判断出来ます。巨大な組織で有りながら疲弊する事無く常に前進する事が約束されているのです。

当2750地区は、世界的にも珍しい海外の8クラブを含む4つの国【日本(東京)・アメリカ(グアム・サイパン)・ミクロネシア連邦・パラオ共和国】と地域を一つの地区に包含しております。その地区内8つのグループの中でも超都心に立地するのが当「山の手東グループ」です。山の手東グループを構成する11のロータリークラブ



North Carolina RCより、Cindy Burnett様、Phil Ellison様とバナー交換をさせて頂きました。

会長、幹事、会員の皆さんとロータリーの更なる発展を目指して一緒に活動を、というご縁を坂本ガバナーから与えられました。会員の皆さんの更なるロータリーへの理解度向上を目指して共に前進したいと思います。また当グループ内のロータリー活動を更に発展させるべく足繁く意見交換し情報を共有して参りたいと念じております。何卒宜しくお願い致します。

さて私が考えるロータリーについて以下所信を述べたいと思います。当クラブで会員の皆さんに事ある毎に申していますが、ロータリーが無くて日本はダメにならない、ロータリーが無くて市民生活に大きいマイナスは発生しない、ロータリーが無くて企業活動に支障は来さない。ではロータリーはこの世の中に不必要なのではないでしょうか？ロータリーは無用なのではないでしょうか？何のためにロータリーは存在し100年有余も変わらず存在しているのでしょうか？ロータリーは「無用の用」なのか？

ここで皆さんに千年前の中国の思想家集団<淮南子エナンジ>漢の王、劉安が学者を集めて作った書の言葉を贈って問題提起をしたいと思ひます。それは「一目の網は鳥を得ず、鳥捕る網はただ一目」という発想です。この発想の意味するところはもし今、仮に一万の網目を持つ網を張って鳥を捕まえようとする、早速鳥が網にかかった、今日のおかずが出来た、と猟師さんは喜ぶ。一羽の鳥を捕獲するために用をなしたのはただ一目の網であった、では残りの9999の網目は必要ではなかったのか・・・しかし鳥を取るために一目だけの網を鳥の通り道に張り続けても鳥は永遠に捕獲することは出来ない。ロータリーとは、と考える時に必要になるのはこの用をなさなかった9999の網目のことなのではないのか、今必要ではないが、いざ、と言うときに必ず必要になる、それがロータリーではないのか。即ち9999の網目が用をなした「無用の用」という中国の思想家集団が千年の昔に

考えた思想が現在のロータリーの社会貢献、国際貢献、自己研鑽などのプログラム実行の際に自然に反映されているのだ、と。「無用の用」の具体例があります。

奈良 薬師寺 東塔(天平2年/西暦730年建立)です。高さ34m、釘を一本も使用せず、無数の梁、無数の柱で出来た木造の塔です。この塔を研究した昭和初期の著名な建築家は、「私なら同じ材料で同じ塔を3棟作れる。古代人は無駄な材料の使い方をして実にもったいない。」と言う意見がありました。そんな意見があった頃、1961年(昭和36年)9月16日第二室戸台風襲来。歴史に残る強烈な風台風でした。室戸岬から上陸、その後大阪湾に再上陸、中心気圧900hPa、最大風速66,7m、日本列島を縦断し関西地方にも多大な被害発生しました。しかし、奈良 薬師寺 東塔は第二室戸台風にも負けず、現在もしっかりと残っている。

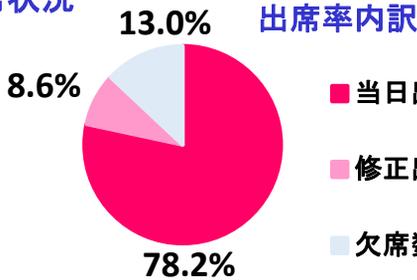
つまり、無駄だと思われた無数の梁、無数の柱が、千年に一度と言われる災害に備えていたのだと。ゆえにロータリーとは「無用の用」であると言えるのではないのでしょうか。

ゲイリーC.K. ホアンRI会長の活動テーマは「ロータリーに輝きを」です。また、会長は以下のように述べております。孔子曰く「済家治国平天下」「まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。」ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

◆◆ 出席報告 ◆◆

2014年7月22日 出席状況

- ・会員数 23名
- ・出席者 18名
- ・ビジター 6名
- ・ゲスト 0名



修正出席率
86.9%

《目標出席率》
本例会50% 修正100%

◆前回のニコニコBOX◆ ¥4,000 累計総額 ¥329,943

- ・本日は朝・夕とロータリー漬けの一日となりそうです。ニコニコ!(尾関)
- ・次女が生まれて1ヵ月。一番うれしいのは、保育園の送迎を妻に代わってもらえることです。(丸山)
- ・東京も今日にも梅雨明けとか。いよいよ夏本番ですね。この夏『東京愛宕創業支援塾』もしっかり準備して、実りの秋を迎えたいです。(猿田)

8月のプログラム

- 8/12(火) 規定により休会(お盆休み)※メーキャップ対応なし
- 8/19(火) 卓話:仲田健治様(ロータリー奨学生(LSE修士課程へ留学予定))
- 8/26(火) 卓話:出雲充様(株式会社ユーグレナ代表取締役社長)
「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL:03-3568-3827 / FAX:03-3568-3829 / E-mail:office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

